

避難情報を正しく理解しよう

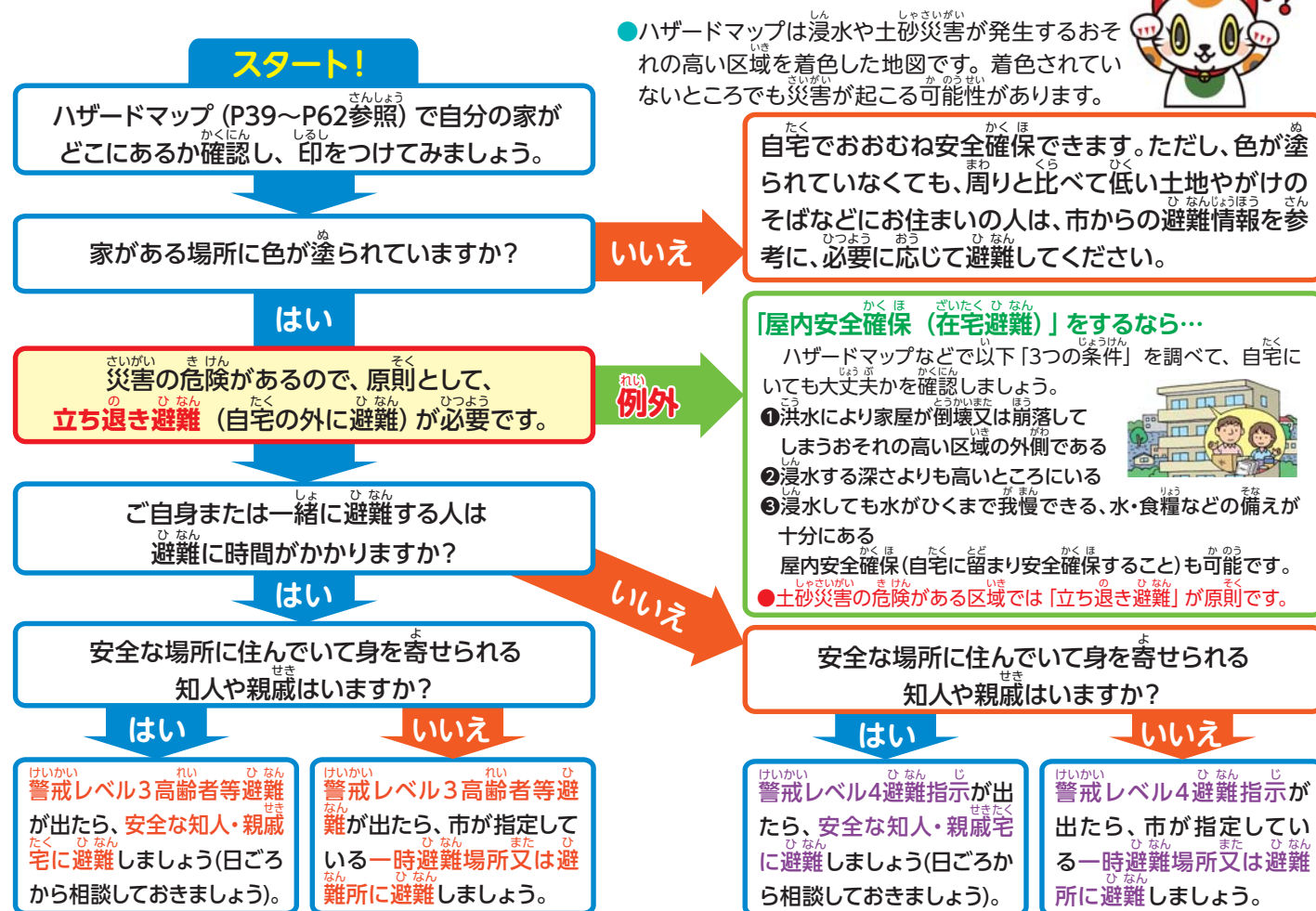
気象情報（気象庁）や避難情報（常滑市）には、**5つの警戒レベル**があります。正しく理解して、逃げ遅れることのないよう安全な避難行動に活かしましょう。

避難の目安となる5段階の警戒レベル

警戒レベル	状況	行動を促す情報	住民がとるべき行動
警戒レベル5	災害発生または切迫	緊急安全確保（常滑市が発令）	命の危険 直ちに安全確保！
~~~~~〈警戒レベル4までに必ず避難！〉~~~~~			
警戒レベル4	災害のおそれ高い	避難指示（常滑市が発令）	危険な場所から全員避難する
警戒レベル3	災害のおそれあり	高齢者等避難（常滑市が発令）	危険な場所から 高齢者等は避難する
警戒レベル2	気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報等（気象庁が発表）	ハザードマップなどで自らの避難行動を確認する
警戒レベル1	今後気象状況悪化のおそれ	早期注意情報（気象庁が発表）	最新の防災気象情報などに注意して、災害への心構えを高める

## 水害・土砂災害 避難行動判定フロー

平常時のうちに、**命を守る避難行動**を確認しておきましょう。



# 水害・土砂災害からの避難行動

近年、日本各地で台風や豪雨を原因とした災害によって、多くの人命などが失われています。気象情報や避難情報に応じて、事前に各自が何をどうすべきか、時系列に従って、**命を守る行動**をとりましょう。周囲の状況を見ながら、身の危険を感じた場合は直ちに避難しましょう。

## 警戒レベル1

早期注意情報（気象庁発表）

- 最新の防災気象情報の収集につとめる。
- 台風の進路と接近予想日時を確認する。
- 家族の行動予定を確認する。
- 非常持ち出し品や備蓄品を確認、必要な物の買い出しを行う。
- 常備薬、持病薬を確認する。
- 車にガソリンを入れる。
- 犬のリードとえさの準備をしておく。
- 土のうや水のう、止水板を用意する。



## 警戒レベル2

大雨・洪水・高潮注意報等（気象庁発表）

- 不要不急の予定を変更する。
- ハザードマップを確認しておく。
- 避難経路や避難場所を確認しておく。
- 避難所の開設状況を確認する。
- 非常持ち出し品をそろえる。貴重品も入れる。
- 携帯電話を充電しておく。モバイルバッテリーを用意する。
- 停電に備えてランタンやラジオを準備しておく。
- 強風対策として、物干しざお、自転車、植木鉢など飛びそうな物を家の中に入れておく。
- 重要書類、移動可能な家電製品、思い出のアルバムなど大切な物を2階に移動させる。
- 断水に備えて容器や浴槽に水をためる。
- お世話になる親戚や知人の家に連絡する。
- 動きやすい服装に着替える。
- 近所の高齢者に声をかける。



## 警戒レベル3

高齢者等避難（常滑市発令）

- 常滑市河川カメラなどで川の水位をチェックする。
- 家の窓やドアに鍵をかける。
- 電源ブレーカーを切る。ガスの元栓を閉める。
- 避難準備をする。危険を感じたら自主的に避難する。
- 車で親戚や知人の家に避難する。
- 近所の一人暮らしの高齢者に声をかけて一緒に避難する。



## 警戒レベル4

避難指示（常滑市発令）

- 自宅が安全な人は、自宅にとどまる（外出しない）。
- 戸締まりをし、ガスの元栓を閉め、電源ブレーカーを切る。
- 歩いて安全な避難所や親戚・知人宅へ避難する。
- 家族全員避難完了後、最新の状況をラジオなどで確認する。
- 遠方の親戚に家族が避難したことを伝える。



~~~~~〈警戒レベル4までに必ず避難！〉~~~~~

警戒レベル5

緊急安全確保（常滑市発令）

- 万が一逃げ遅れたら、2階以上の部屋など建物の上階に移る。
- 直ちに高く堅牢な建物などで身の安全確保を図る。
- 自分の状況を家族や親戚などに連絡する。

